

佐々木ミノル

8

High school life  
to begin with  
the junior  
high school  
graduate workers

中卒労働者から

始める  
高校生  
汗

CH  
COMICS  
THE BEST INNOVATION





ワーカー  
中卒労働者  
から始める  
高校生活

8

佐々木ミノル

Minoru Sasaki Presents



# Contents

26 漫画 昼休み……………3

27 小説 生徒会交流会①……………51

28 漫画 生徒会交流会②……………101

## Story

二年生に進級した  
眞実たちの  
前に現れた新入生は  
ひなぎくの父親だった。  
再会した若葉とトミー。  
あの頃伝えたかった  
想いが、  
止まらない——。



■「コミックヘヴン」

2016年12月～2017年4月掲載分収録

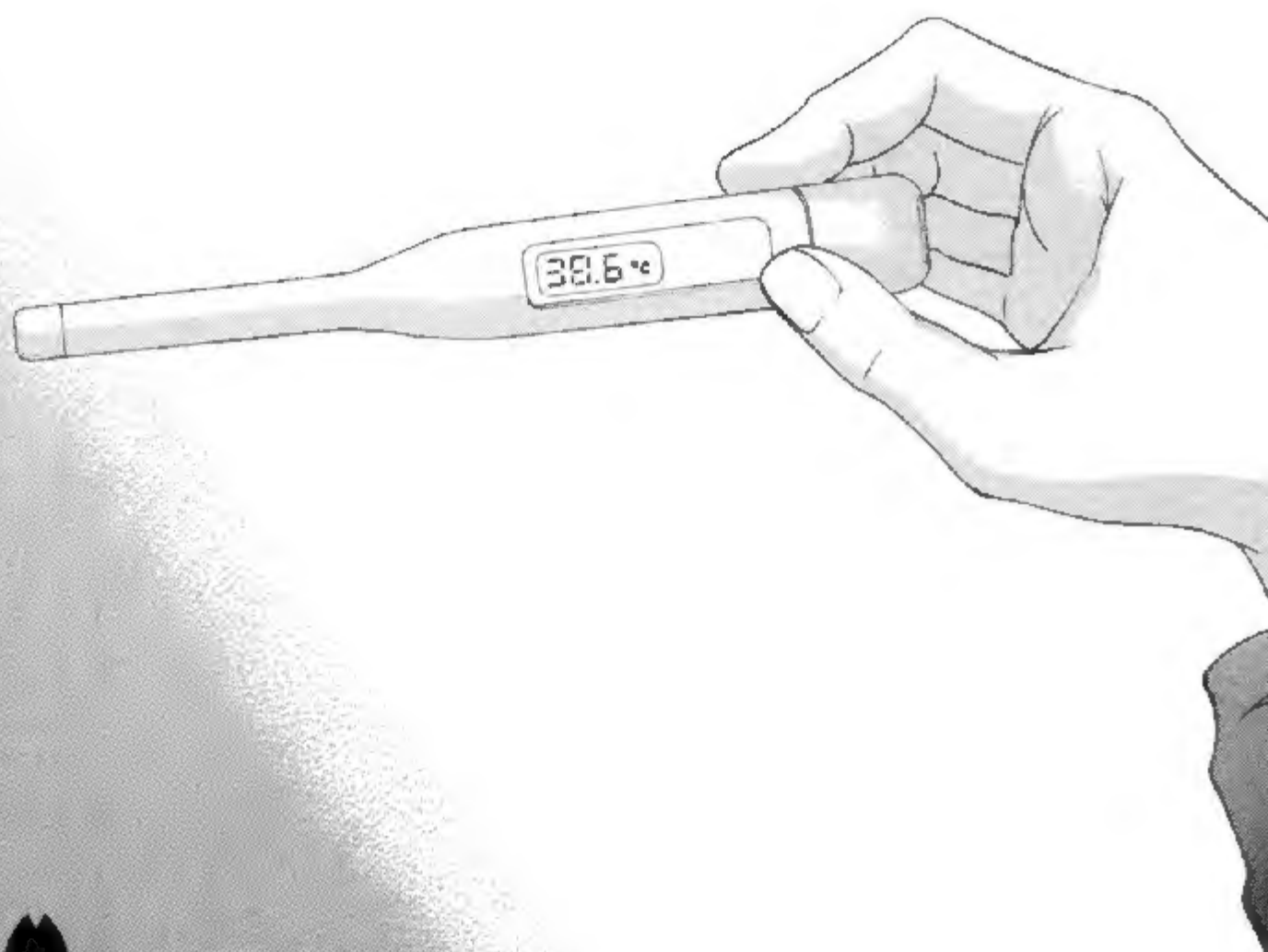
●この物語はフィクションであり、  
実在の人物・団体・組織・企業等とは一切関係ありません。





やっと  
見つけたから

今度こそ



昼休み











そう思って  
1人に  
なったのにな

自分で  
決めたのに

しんどい

な

パイセン！

斉藤若葉

知り合いだよね？  
朝から探してん  
だけどいなくて

バイセン  
知らない？

……

…今日

体調崩したから  
休むって

妹に連絡来た  
みたいだけど…

体調…

そっか…

「会いたくなくて  
逃げたんだけど」

「じんどい  
です…」

…あの





若葉に  
近付くの

やめて  
もらえま  
せんか...



...俺が  
言う事じゃ  
ないんすけど...

あいつ  
辛い  
だったんで







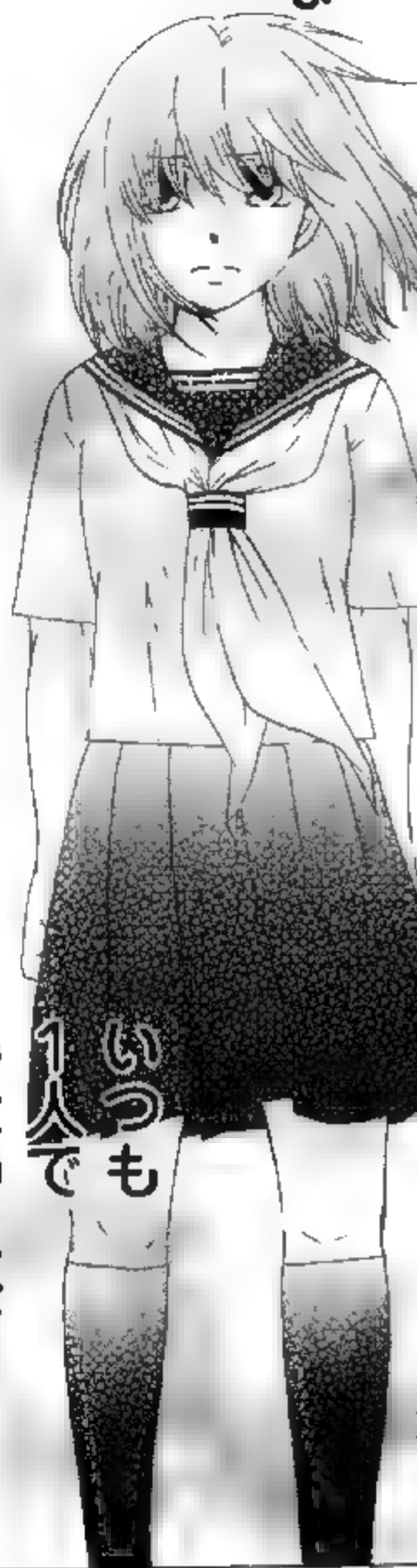
そう  
言えないなら  
付き合っちゃ  
ダメだったん  
だよな

「彼女以外  
考えられない」…





怒ったような  
顔して



いつも  
一人で  
いたのにな

ピロリン!

あ

若葉  
ちゃん!

うわー  
身体辛いから  
買い物お願い  
って!

大変...

わ  
私も  
手伝いに  
行くかしら?

大勢で  
行くと  
疲れさせ  
ちゃうかも  
...

んー

ここは

真彩に  
まかせて!

ばばっと  
お買い物届けて  
様子見て  
くるよ!!















人だと



しゃべる

けど...



「彼女の  
気持ち」



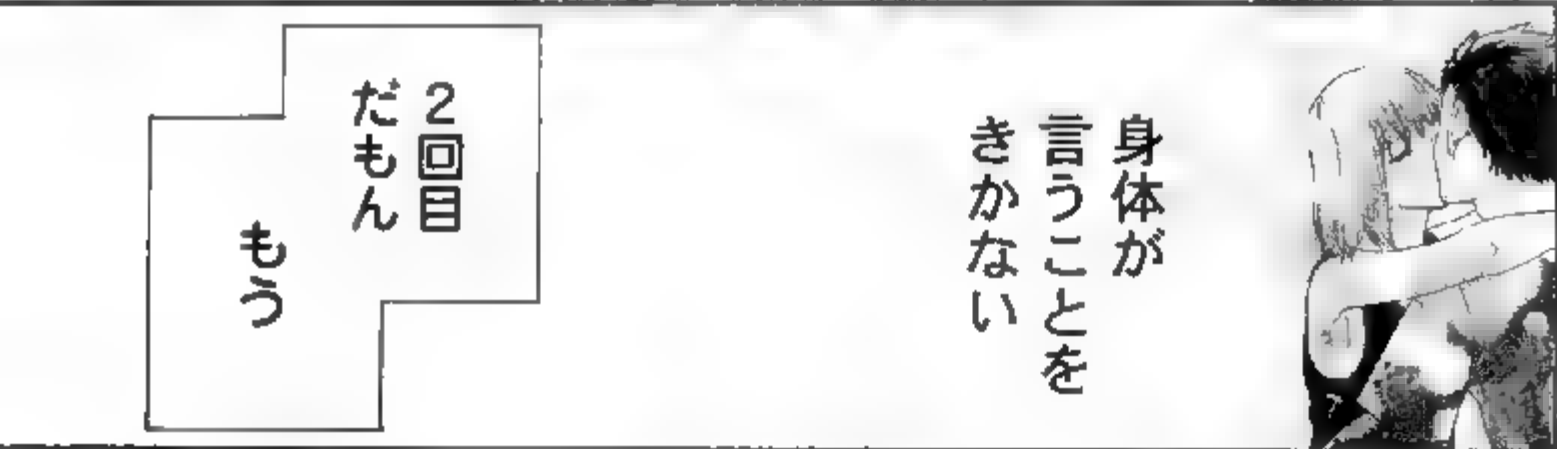


ほんと

ありがとう!!

いやあ  
助かったよ〜〜!

今なら  
平気



身体が  
言うことを  
きかない

2回目  
だもん

もう



あんな風には  
ならない

じゃあ  
ちゃんと  
治せよ

えー!!

まこっちゃん  
遊ばないの!?

今度  
学校で  
遊ぼうな

ええー  
なんぞさー

来週は  
学校行くから

ああ…  
来週も  
でもまあ ゆっくり  
辛かったら しとけよ

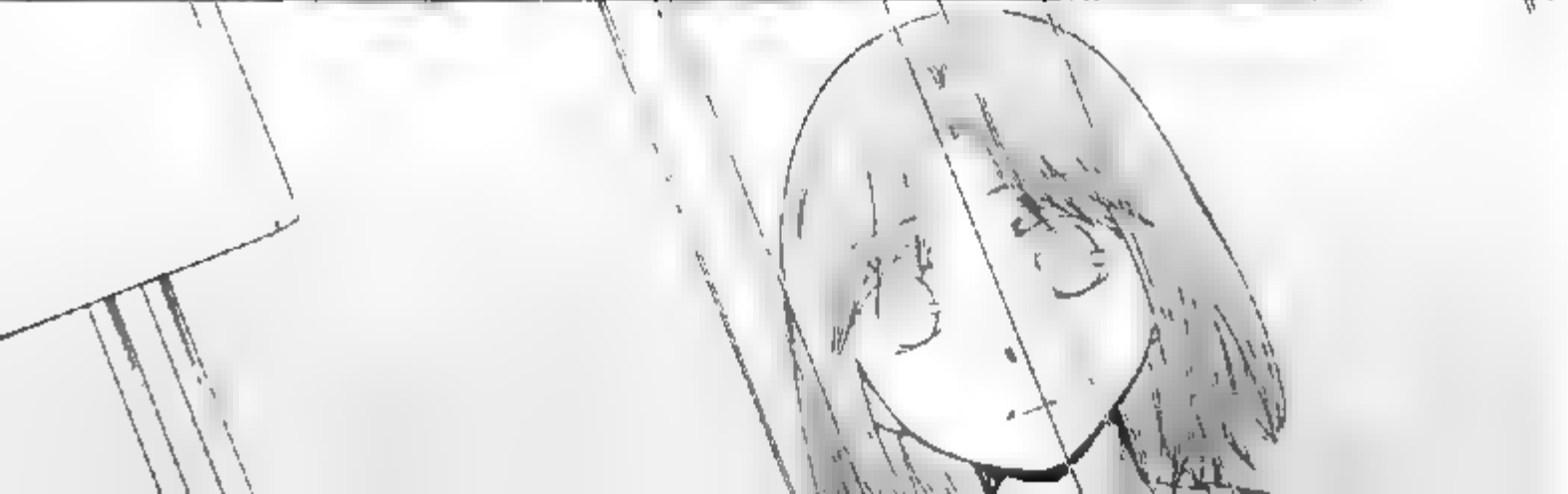
別に  
悪くねえと  
思うけどな

えー？

そんなに  
休んだらもう  
勉強からも  
逃げたくなっちゃう  
じゃん！

「逃げる」って







4646



はだし

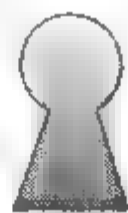
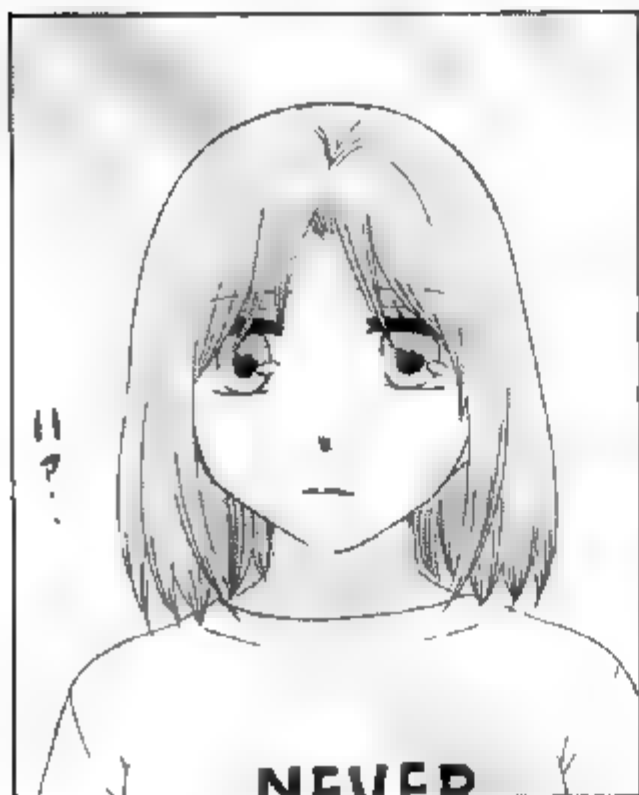
うん

大丈夫

コントロール  
できる







見たくない

でも  
逃げたい





ワイ  
ワイ

なにこれ……



……  
……  
!!



……

…なんで



そうだ!

若葉ちゃん  
会いたくないって  
言ってたんだった!

あ…あの  
真彩ちゃん  
… 斉藤さんが

戻って  
きたの

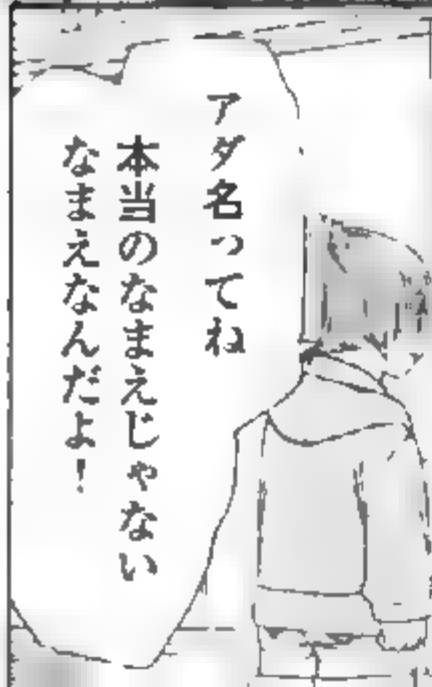


…  
会いたくないって  
なっただらな

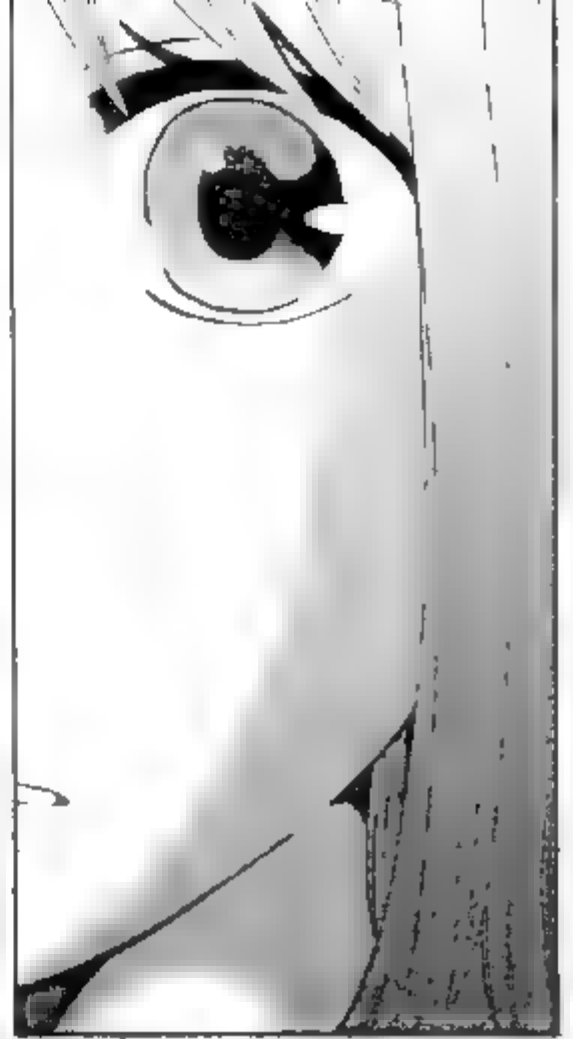


なにか  
イジワル  
したんじゃ  
ないの?

して  
ねーよー







よく知ってんな...

難しい  
ことを

ひなぎくのねー  
保育園のね  
先生が言ってた

好きな人だと

しゃべる  
けど

ああ



好きなの  
かあ...

パイセンはさ

何の仕事  
してんの

ああいう

人だな...



優しくて

明るくてさ

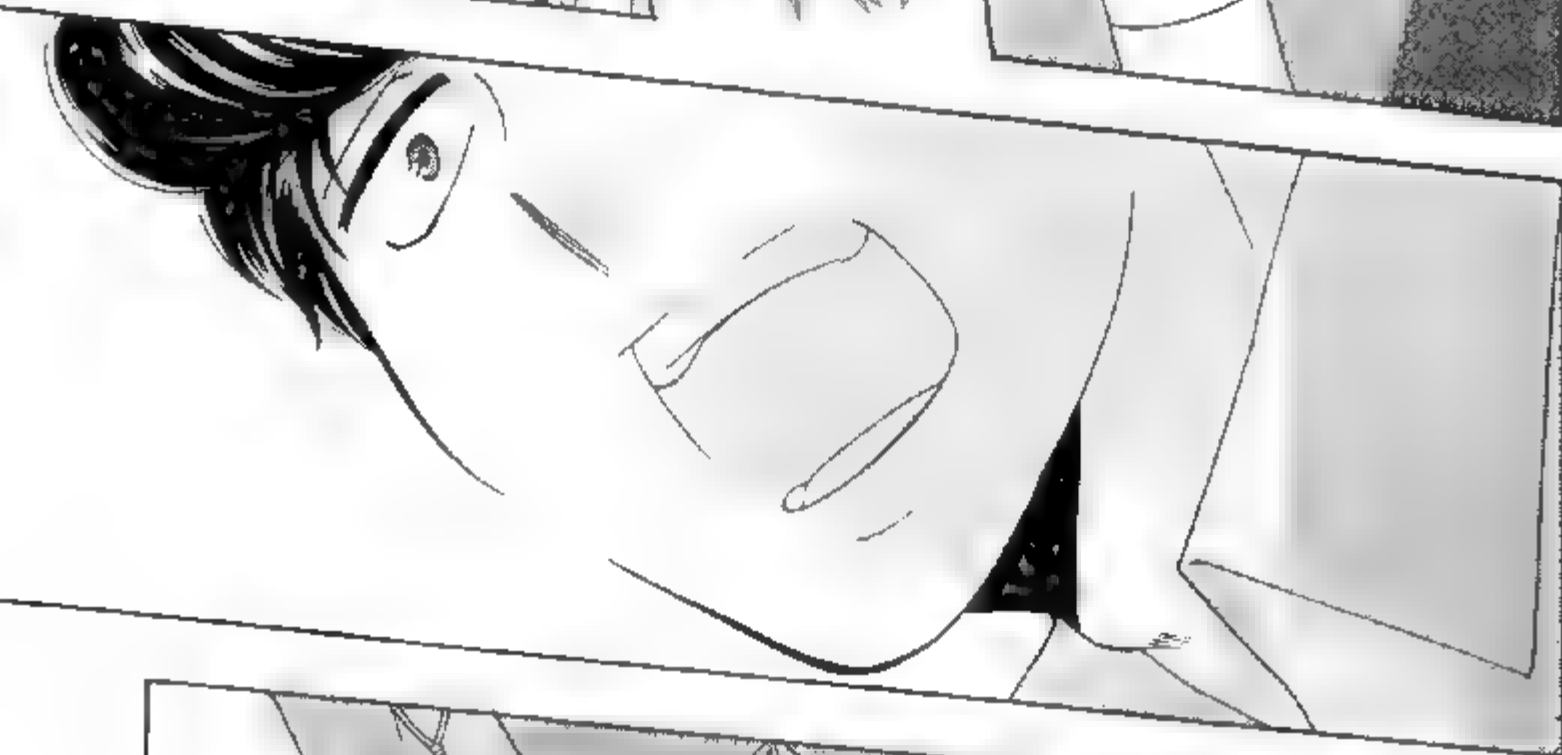
キラキラ  
してるんだ

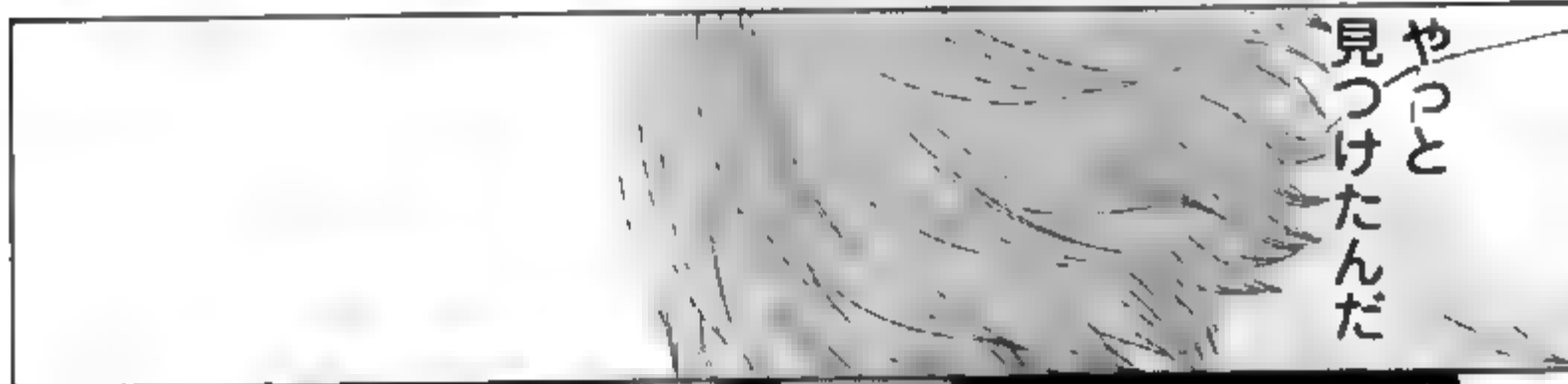
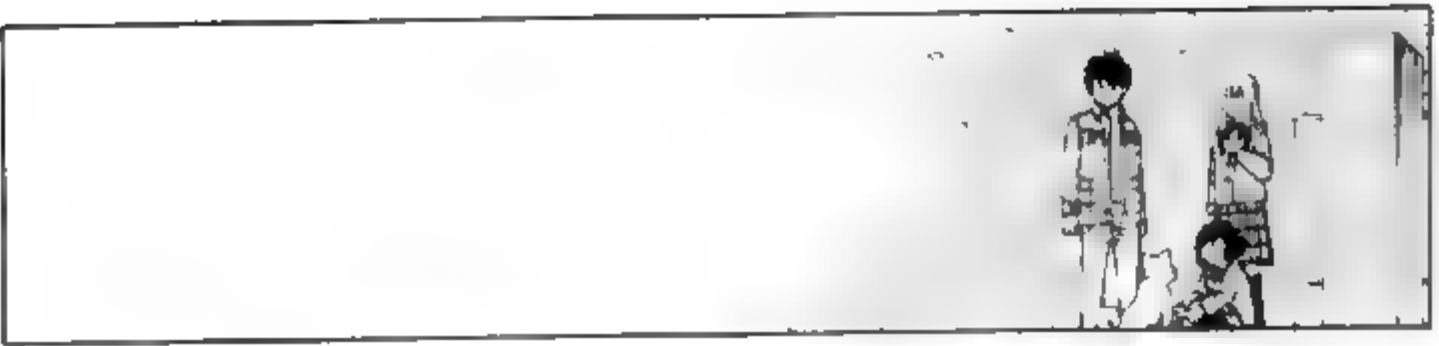
そうか

私

まぶしくて

潰れそう  
なんだ

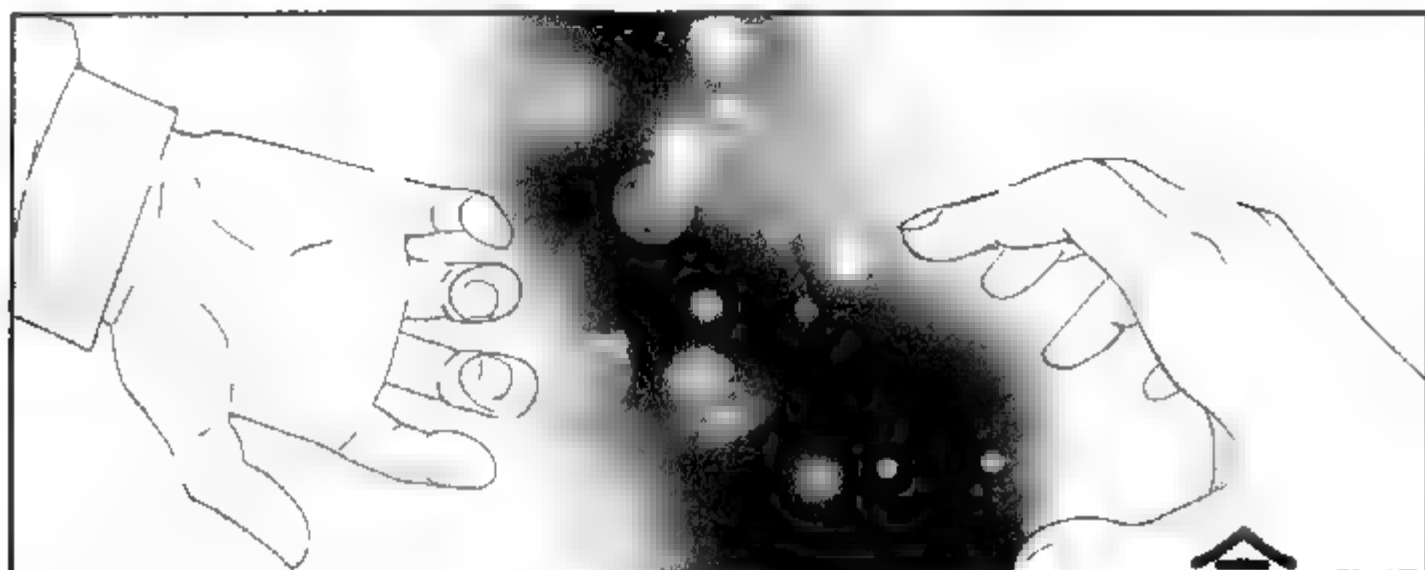




やっと  
見つけたんだ

今度こそ





お前  
ふざけんな!!!

逃げて  
ばっかで

なんなんだ!?





逃げて  
何になるんだよ！

5年前も  
いきなり消えて

なんで  
俺に……



なんで

ひなぎくのこと  
話さなかった!?



…無理だった



あのまま  
側にいるのは  
無理だった……！

私  
クズのままだ  
嫌だった！

人の物を奪<sup>と</sup>って  
2人で  
生きてくのは  
嫌だった!!

はあ  
……!?

「奪る」?

「人の物」?

何の話してんだ!  
俺は俺の意志で  
動いたんだ!!

そう言われたの!  
泣いて責められた!

あんたの彼女と  
その友達に



そんな



赤の他人の  
言う事  
真に受けたの  
かよ…  
関係ねえだろ



トミーは  
遊びだったんだから

もう  
近付くなって



若葉ちゃん  
助けた方が  
いいかな

止めに  
入る？



ど…

どうしよう  
…？



いや…



…





前の彼女と  
別れる前に  
好きになったらクズ？

順番が  
違ったらクズ？

ちゃんと  
してないから!?

くだらねえよ!!

お前はお前の  
立ち位置が  
気に入らなかった  
だけだ!

全部  
放り投げて  
逃げただけ  
だろ!!

それが  
立派かよ!?





ずいじゅ……

そう

信じて  
きたのに

立ち  
位置が

やめて

NEVER  
ever

全部  
放り投げて

まって

ああ

これって

台所用

服





違った...!

本当だ

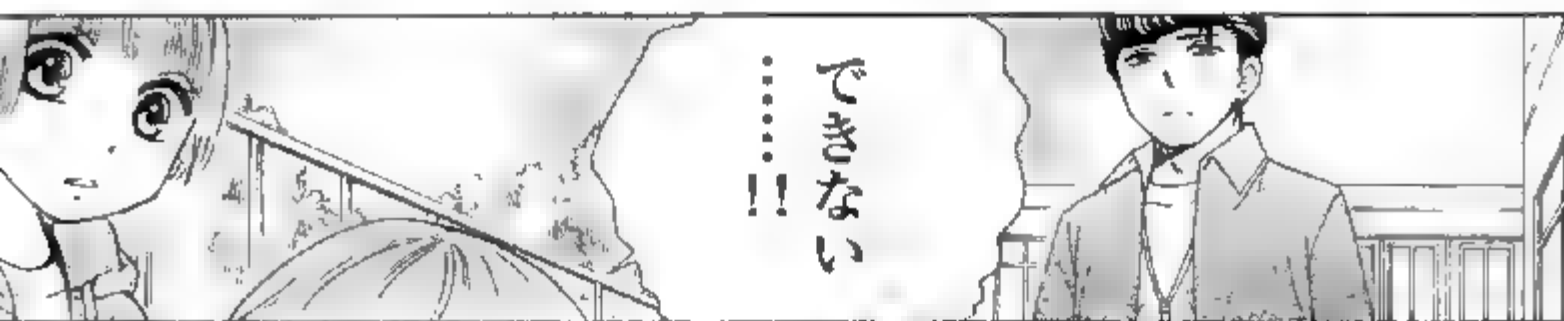


全然  
違った

……!!

逃げて  
きたんだ  
NEVER  
ever





好きだよ





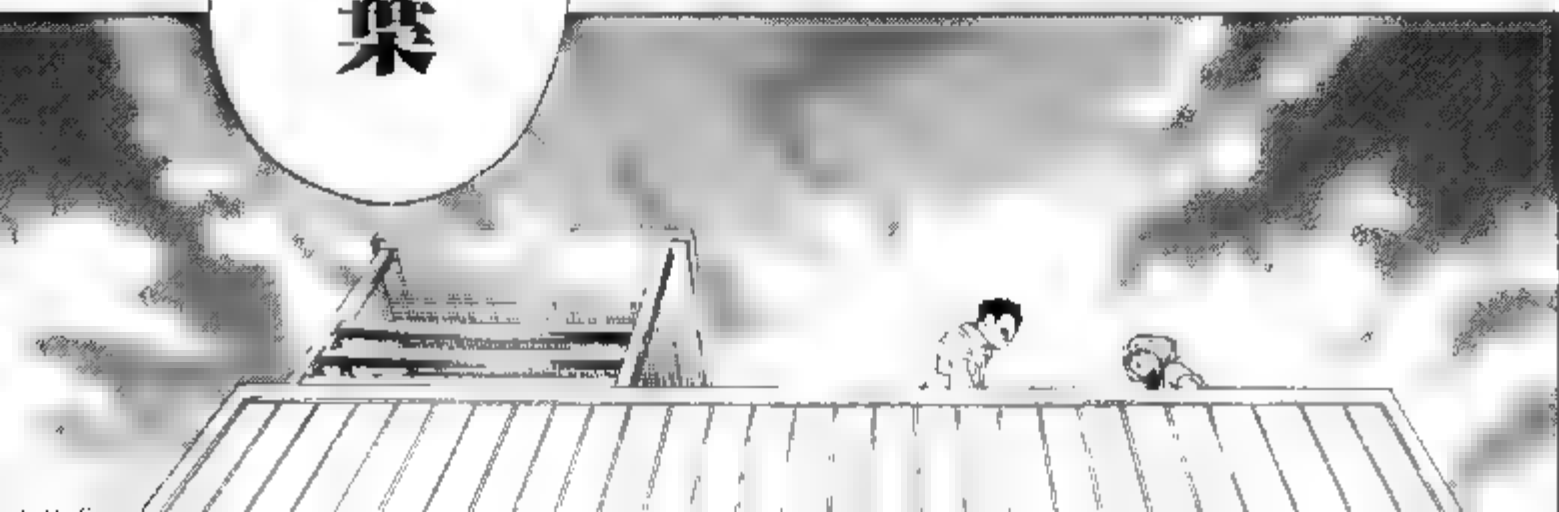
5年前から  
ずっと

お前だけが  
好きだよ

他に  
何もいない



若葉



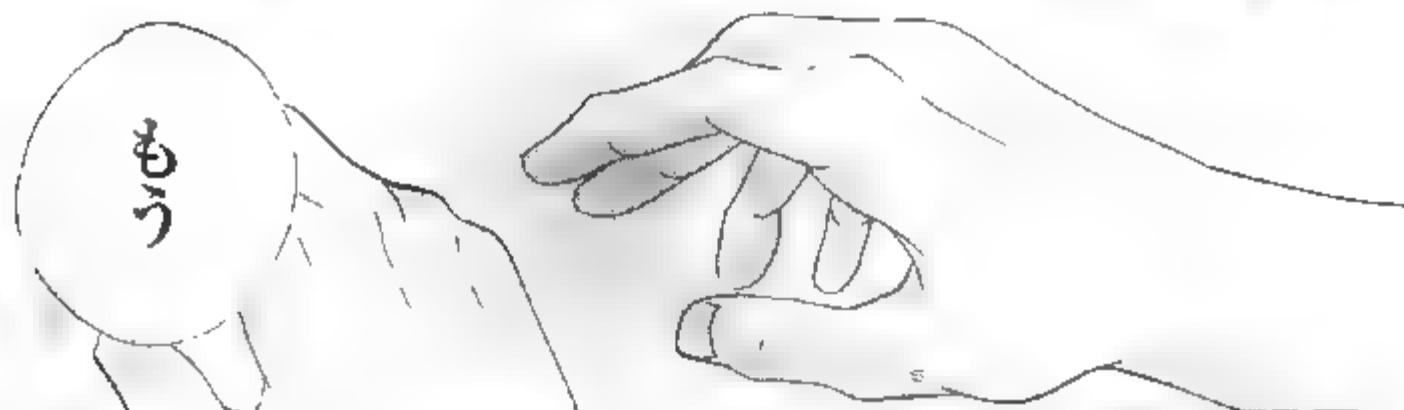


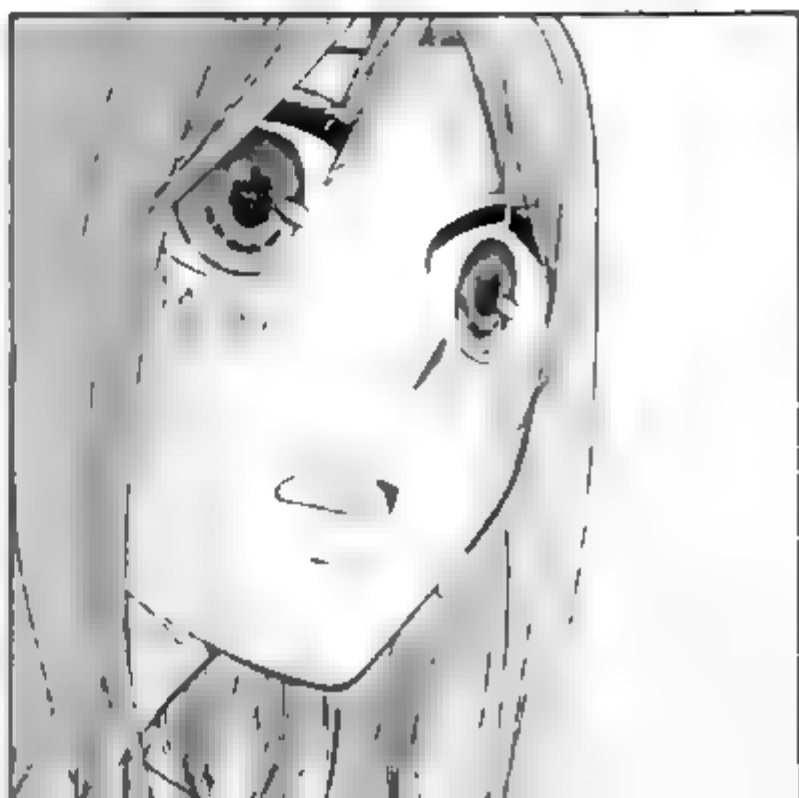
好きだよ

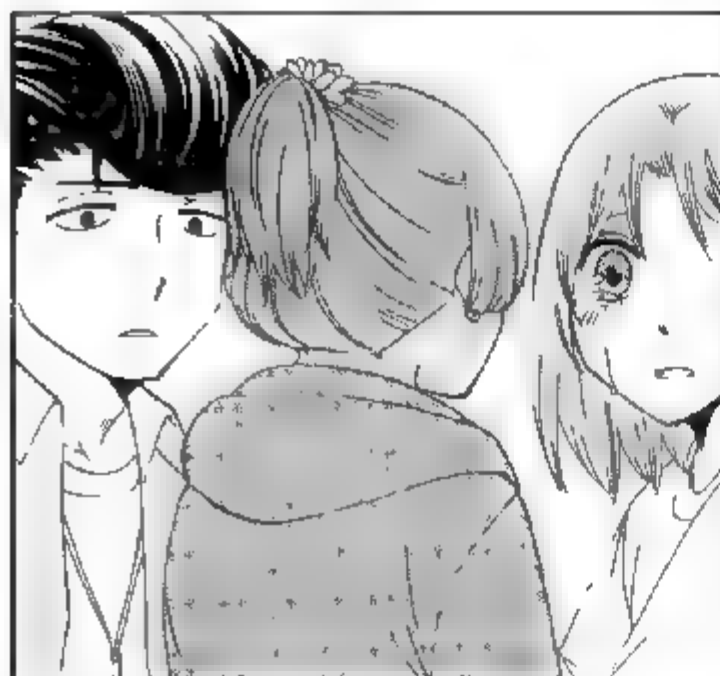


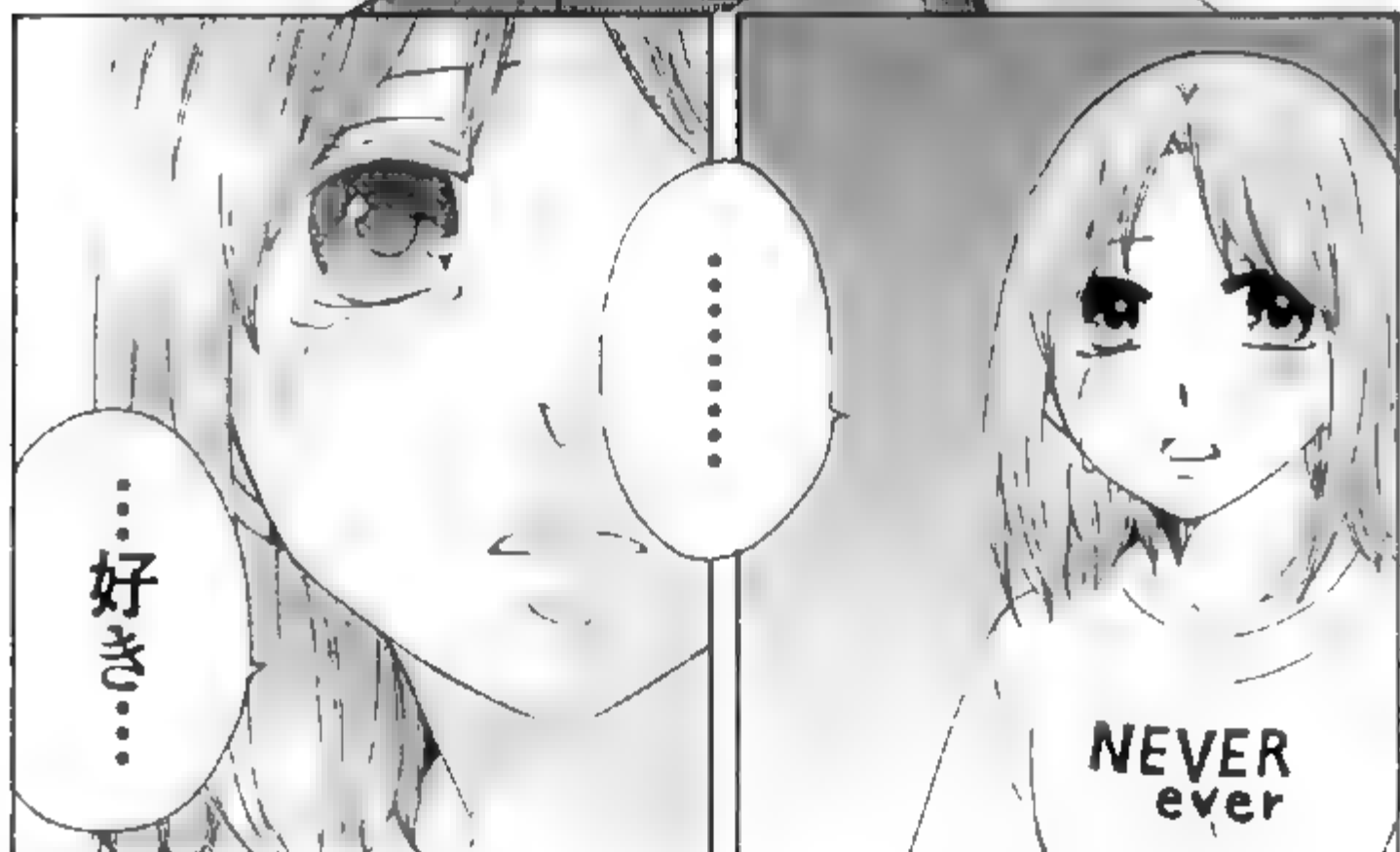


## 生徒会交流会①













…だっ・た・っ・た・っ・

大好きだっ・たん  
だけと

前の話…



今じゃなくて…

前の話なの

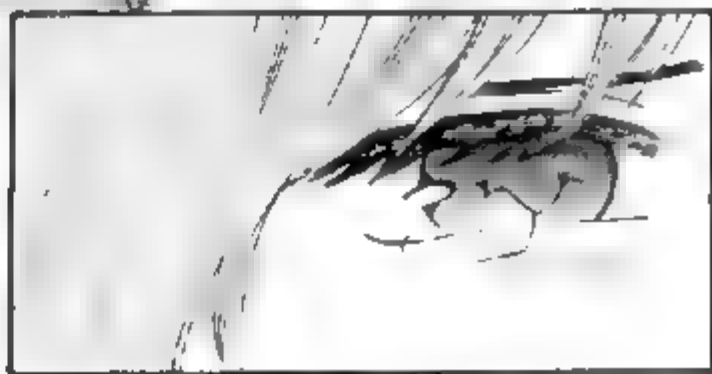


今は



NEVER















わからないって  
なんだよ!?

お前  
困ったら  
すぐ言えよ!

助けたいし!!

は

は

友達に  
助けてもらってる  
ならいーじゃん!

俺の  
こともさ

友達だって  
思えばさ!!

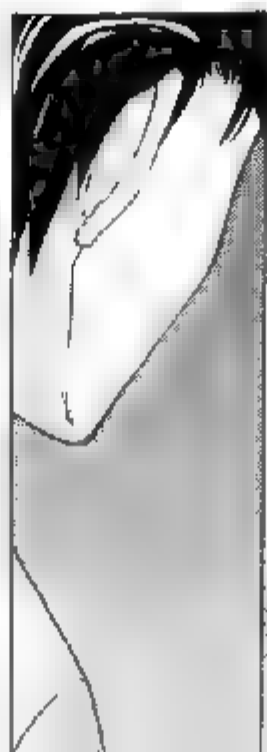


まだ  
やってんの？

その

いて

嘘か  
笑顔  
の  
！





ばい

ばいばい

パツ...

おはよう

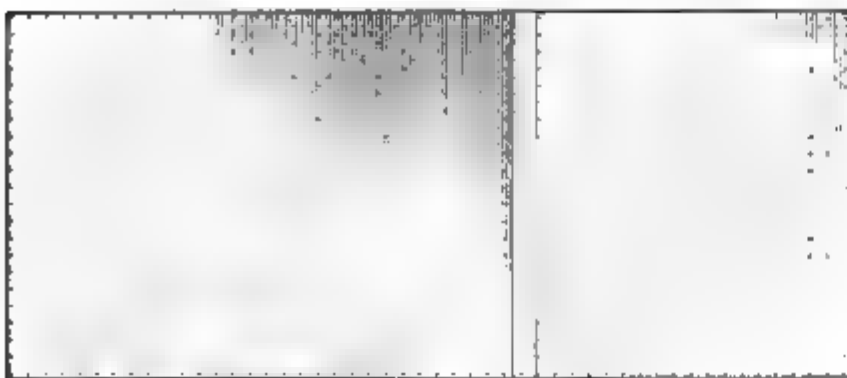






アダ名  
かよ…





意地を  
張ってるとか

無理を  
してるとか



そういう線も  
無さそうだ

あの顔は



私

トミー  
みたいに

強くない…

大丈夫…

俺は  
強いから

大丈夫…

# 生徒会交流会①



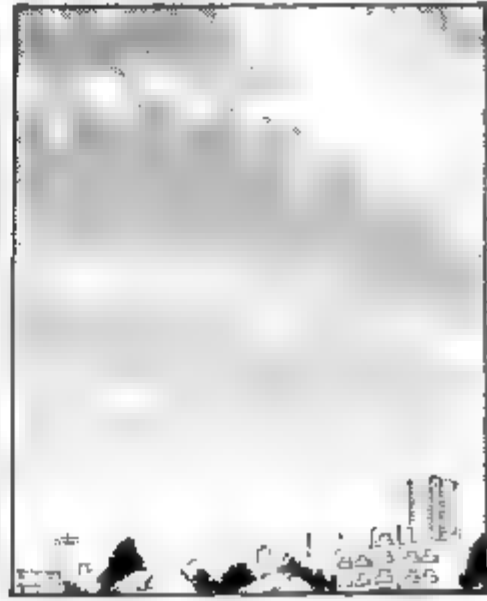
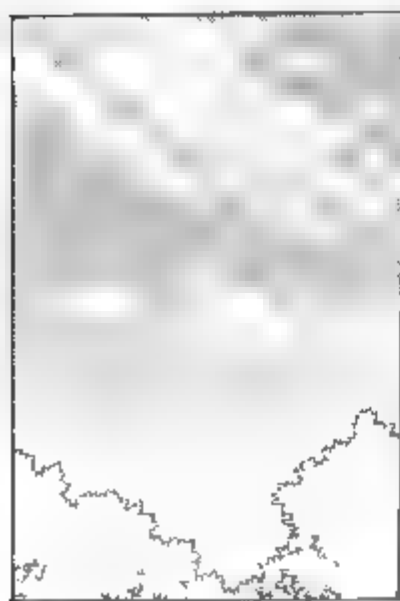
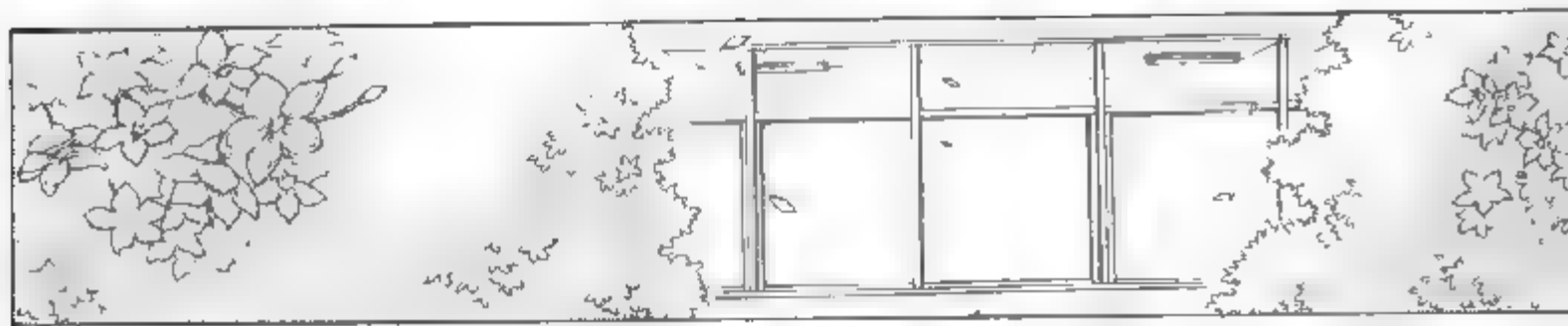






## 生徒会室





2カ月後



東々第一高校  
通信制生徒会は

毎年  
山能高校  
通信制生徒会と  
交流の場を  
設けている

山能  
小。

一泊で  
青年の家に  
泊まり

お互いの学校の  
活動報告や  
レクリエーション  
などを行い

学校生活に  
おける悩みなど  
共有し

より良い  
学校生活に  
役立てる  
目的である





真彩  
いっぱい  
おかし  
持ってきたー！

一条くん  
食べる!?



どうしたの  
一条くん!?

車酔い?

車酔いしそーって  
思ってたけど

ホントにするんだね!

ちよっと…  
黙ってて  
くれないか…

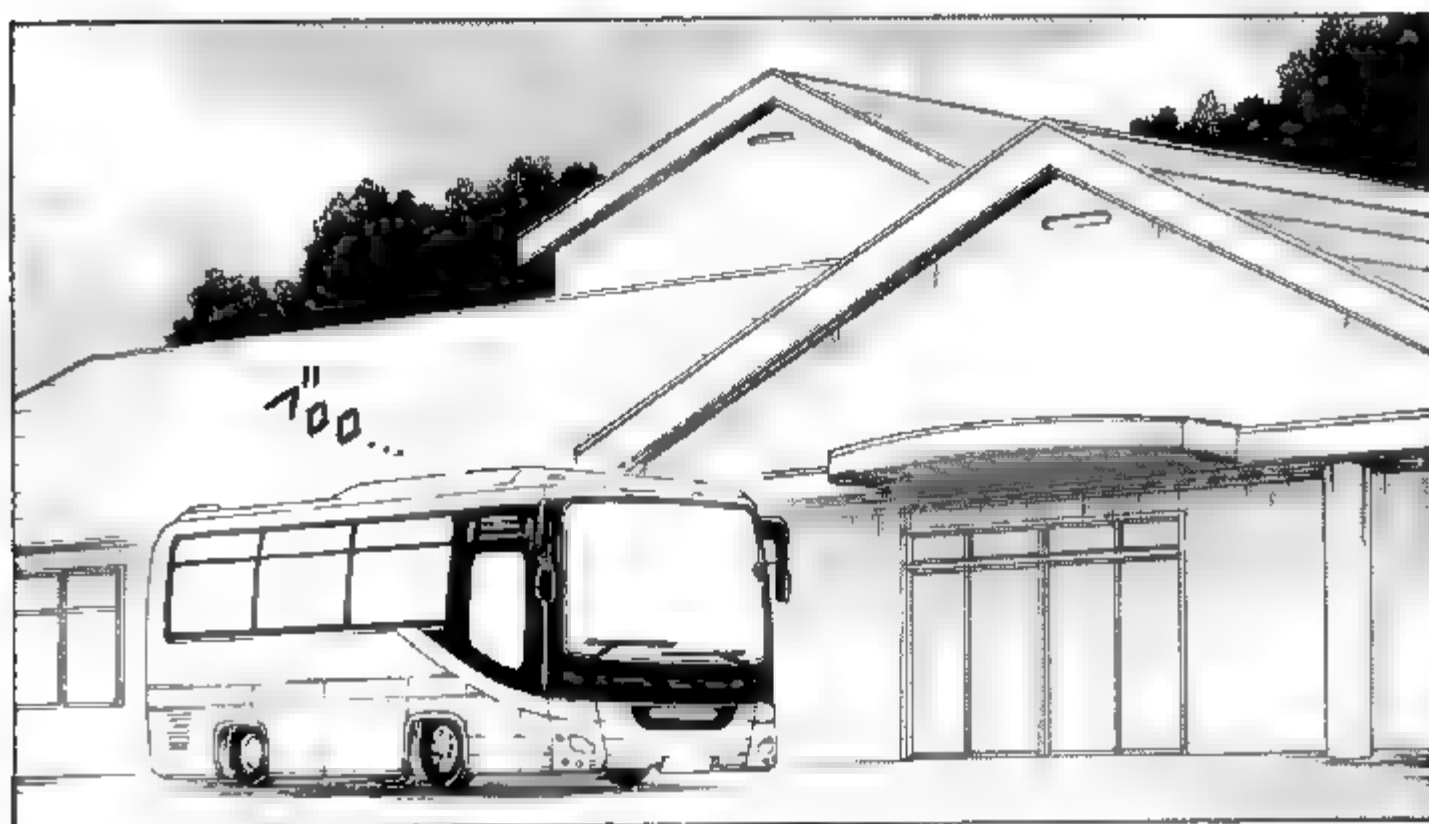


ちよっと…

静かに  
してくれ…















例えば

うちの  
副会長

あの人だ



退職後の再就職に  
必要だと思って  
学んでいるんだ

真剣に  
ならざるを  
得ないだろう



中卒で  
長年勤めているが

定年退職が  
53歳の仕事  
なんだそうだ



資格を  
取るには  
高卒でないと  
受験ができないん  
だよ



俺も  
職場で  
ある資格が  
必要になって



若葉も…

ん？

いや  
友達も



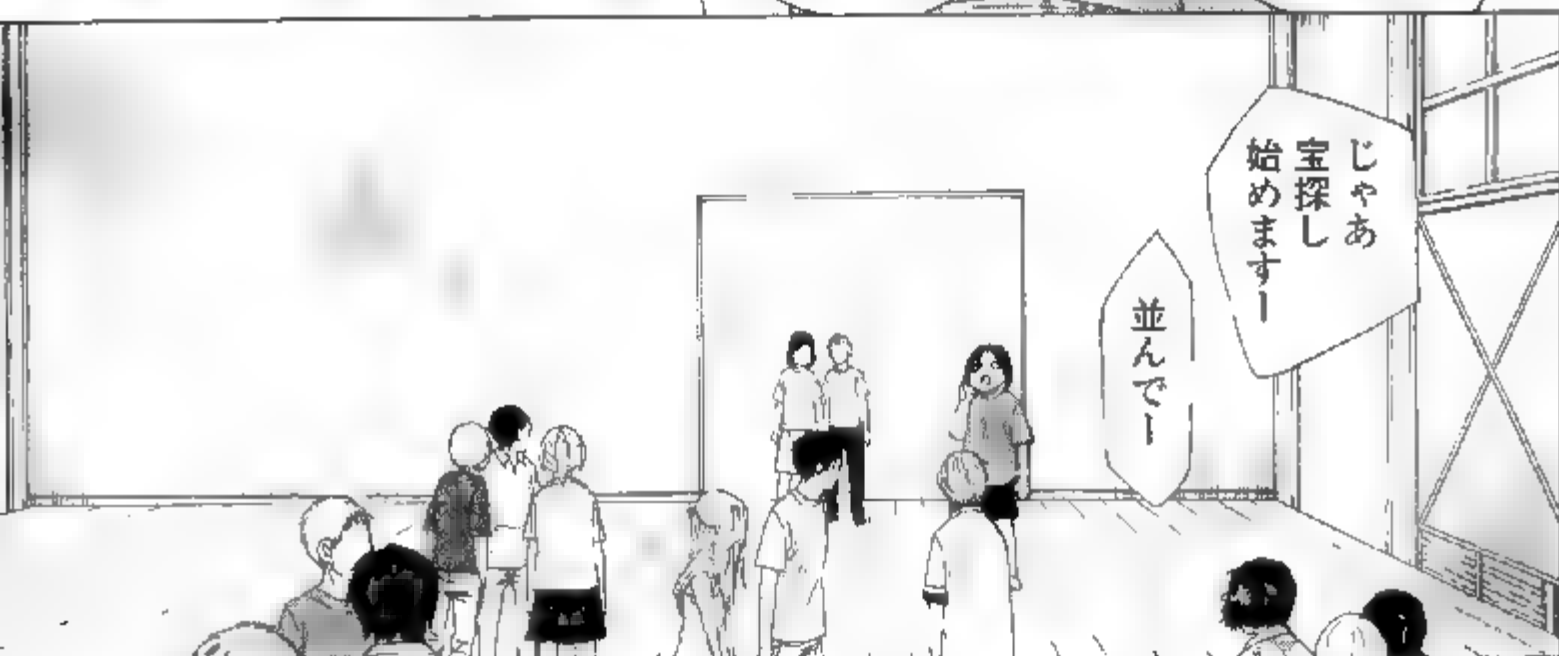
社員に昇格する  
条件が  
高卒だったから

この学校に  
入学したって  
言っていました

同じ  
だなんて  
思ってた

理由があつて  
勉強する

みんな



じゃあ  
宝探し  
始めますー

並んでー



同じような人が

この世には  
たくさんいる







うーん…



他校の人達の  
話を聞いて…

どうだった？  
片桐くん



多種多様…

しかし  
同様？

ハハ

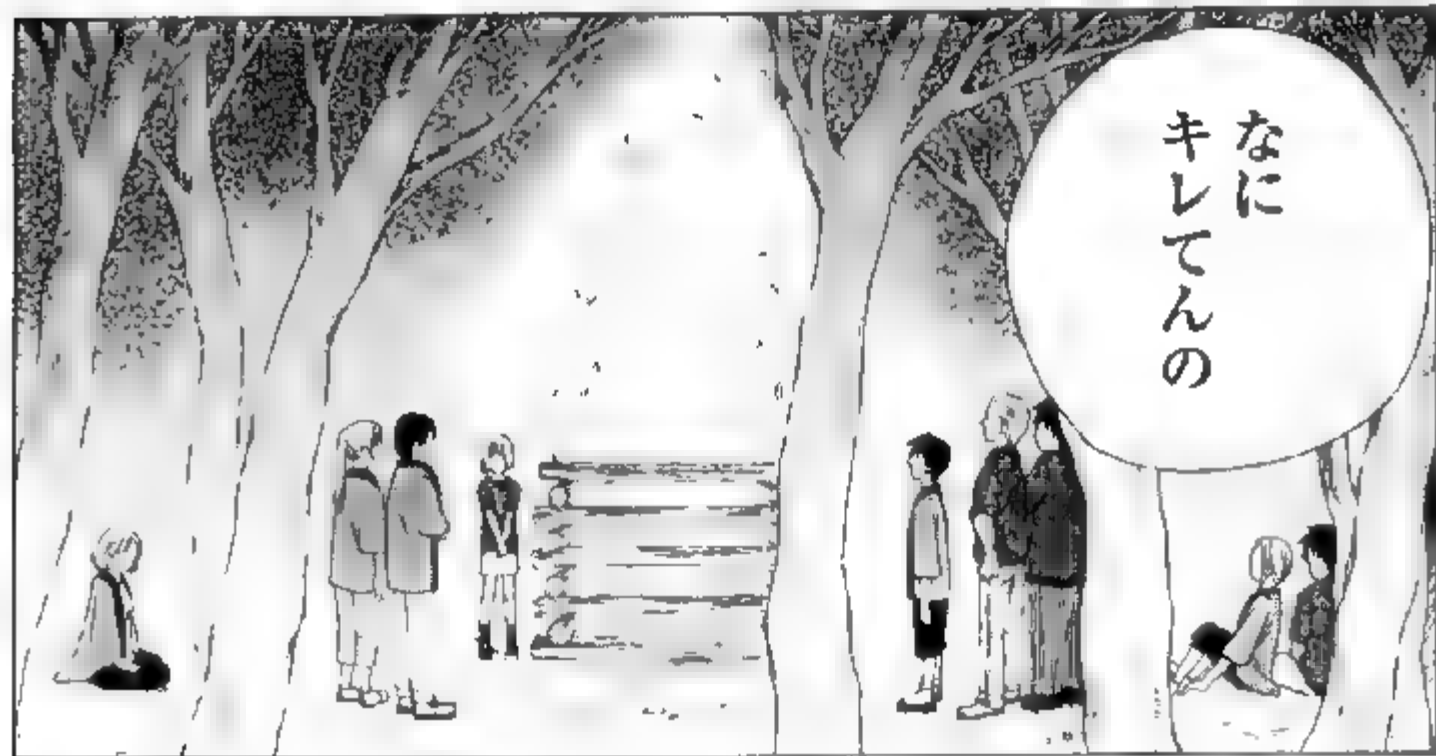
簡潔な  
感想だね



達澤さんは？









でも 私から  
見ても

斉藤さん  
すごいなって  
思うもの

だから  
片桐くんも

すごいな  
えらいなって  
思うんだろうなって  
気になって

私には

すごいところ  
なんてないから

だから  
気になっちゃう  
だけだって

わかってるん  
だけレ...







私は

実家だし  
仕事もないし

斉藤さんは  
大変なもの  
私と違って



だから  
……



……




「助けて  
あげたい」って  
思うん  
でしよう……？」









莉央ちゃん  
まだ好き？



もう

1年  
ぐらい  
経つけど



燃えてたら  
……

消え  
にくい？

消えないん  
じゃないか

思ってる  
よりも  
ずっと

消えないもの  
なんじゃ

ないのか





# 生徒会 交流会

②





「思ったより  
ずっと」



「消えないん  
じゃないか」



「消えないもの  
なんじゃ  
ないのか」



そりや…  
そーだよ  
ね  
一条くん

小さい頃からずっと  
好きだったんでしょ？  
莉央ちゃん…





みんなが  
泣かない方法って  
ないかなー？



うーん  
真彩ばかだから  
すぐには  
思いつかないけど…  
でもね



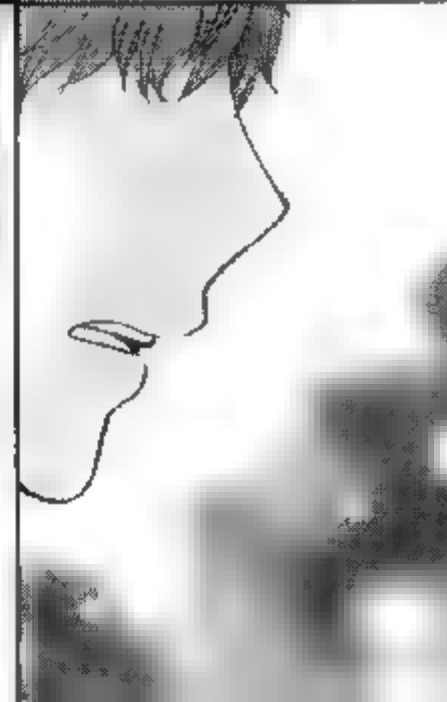
一条くんも  
おにーちゃんも  
莉央ちゃんも



全員  
応援する  
からね！



めちやくちや  
だな…



……



あう!!

笑っ…

一条くん

東

東



若葉が  
風邪引いた時  
買い出し手伝った話  
逢澤に  
したんだろ!?

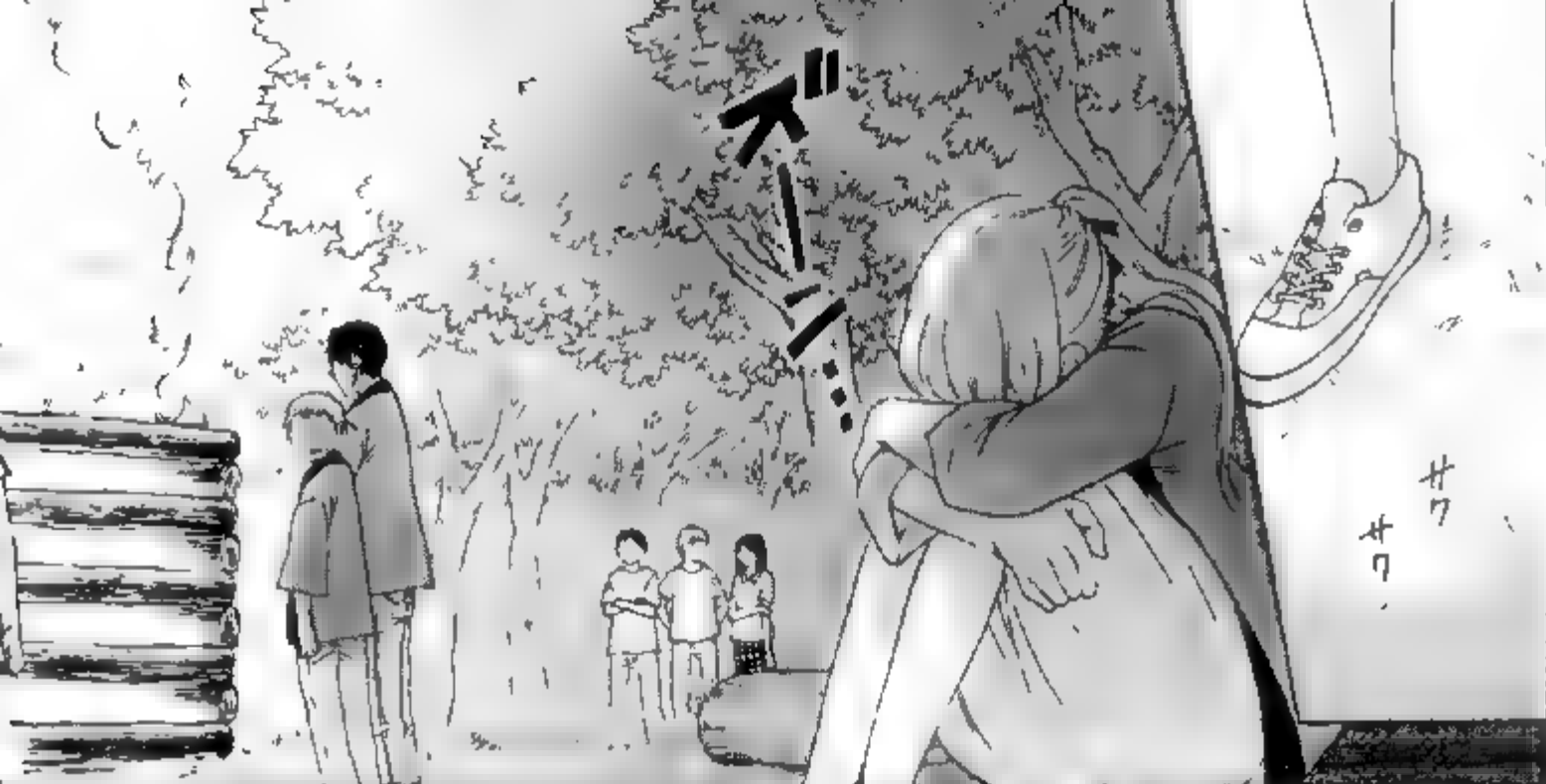
へ…  
え…  
そう  
だっけ  
…???



うるせーバカ!  
余計なこと  
ベラベラ  
しゃべりやがって!!

い…  
いだーい!!  
何でたたくの  
おにーちゃん!





すぐ  
仲直り…

とは  
いかなかった  
みたいだ

え？

何だつて？  
松井さん

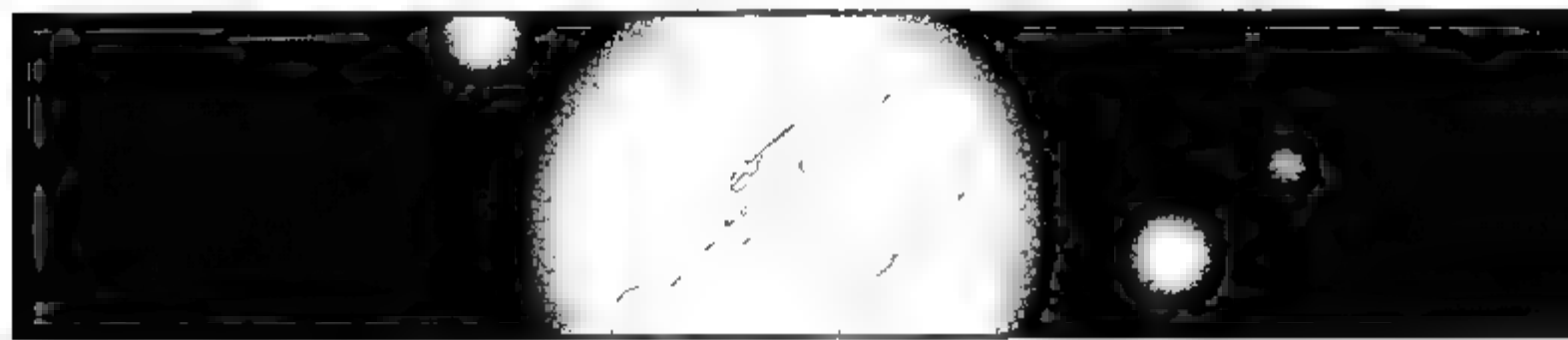
いや

時間が  
経ったら

良い  
思い出に  
なりそうだと  
思っただね

ああ  
そだね









私1人で  
バタバタ  
してる感じ

周りと  
自分を

比べて  
しまうのね  
……

私は

レポートも  
授業も

つらいと  
思わずに  
できるけれど

それは  
当たり前よ

だって

みんなみたいに

大変じゃ  
ないもの……

真彩ちゃんも  
アルバイト  
してるよね

みんな  
私より立派  
だから

不安に  
なっちゃって  
……

あ——

自分に自信ないと  
周り3割増しに  
見えるよねえ！

わかるー

3割増し…？

え…

でも

ほんとに  
みんな凄くて

ちがう  
ちがう！

ホントは  
みんなが  
凄い訳じゃ  
ないんだよー  
自分を  
ゴミだと  
思ってる  
から  
そう見えるん  
だよ

あ…

キョーとん









「私は自信がないの

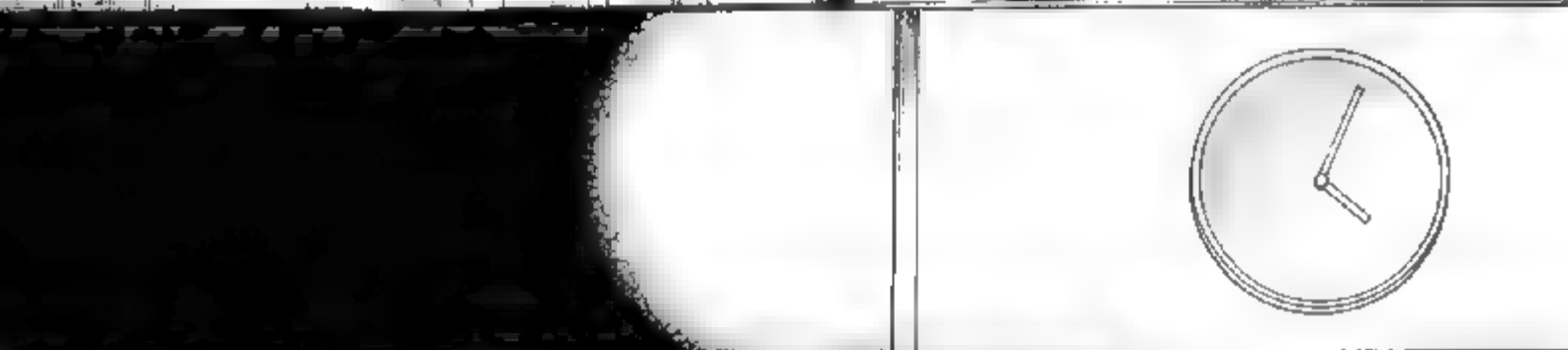
自信を持つ

努力はしてないけど

ダメなままでも  
見捨てないでね

臨目も振らずに  
好きでいてね……」













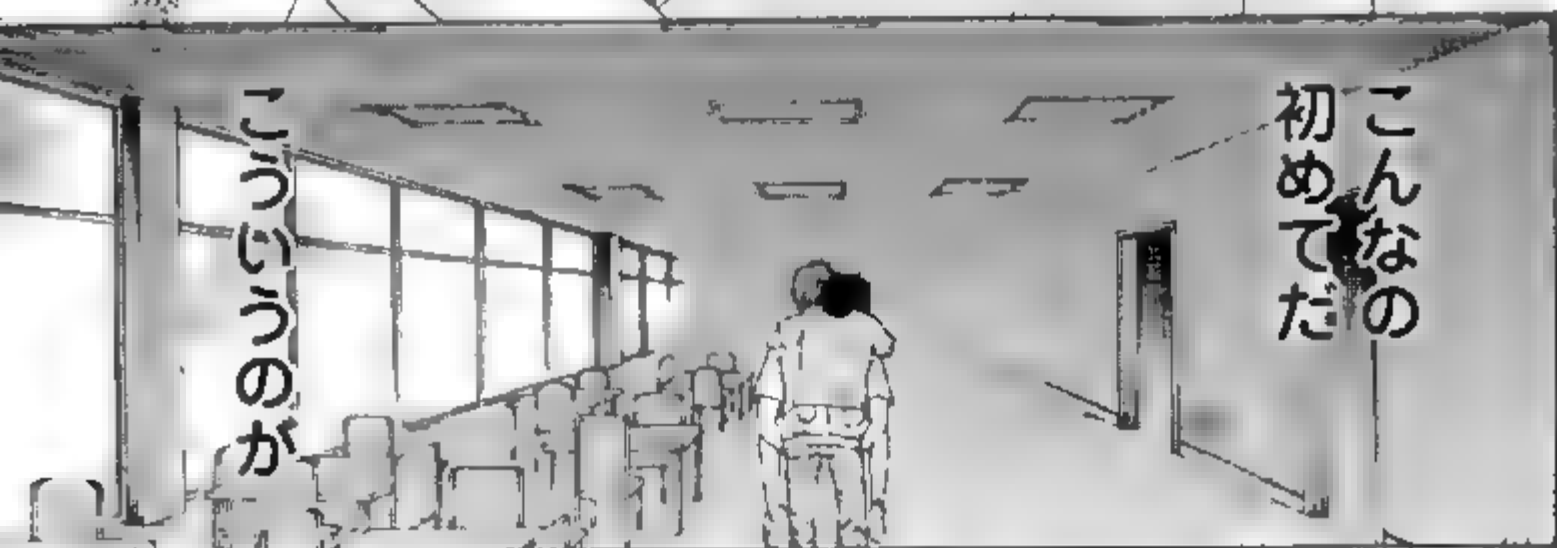
聞いて  
くれるの





意外





“友達”って

こと  
なのかな

え…

えっと…

真彩ちゃんが

部屋に  
いなかったから  
トイレかなと  
思ってた…

私も  
行こうかなって…

そうか

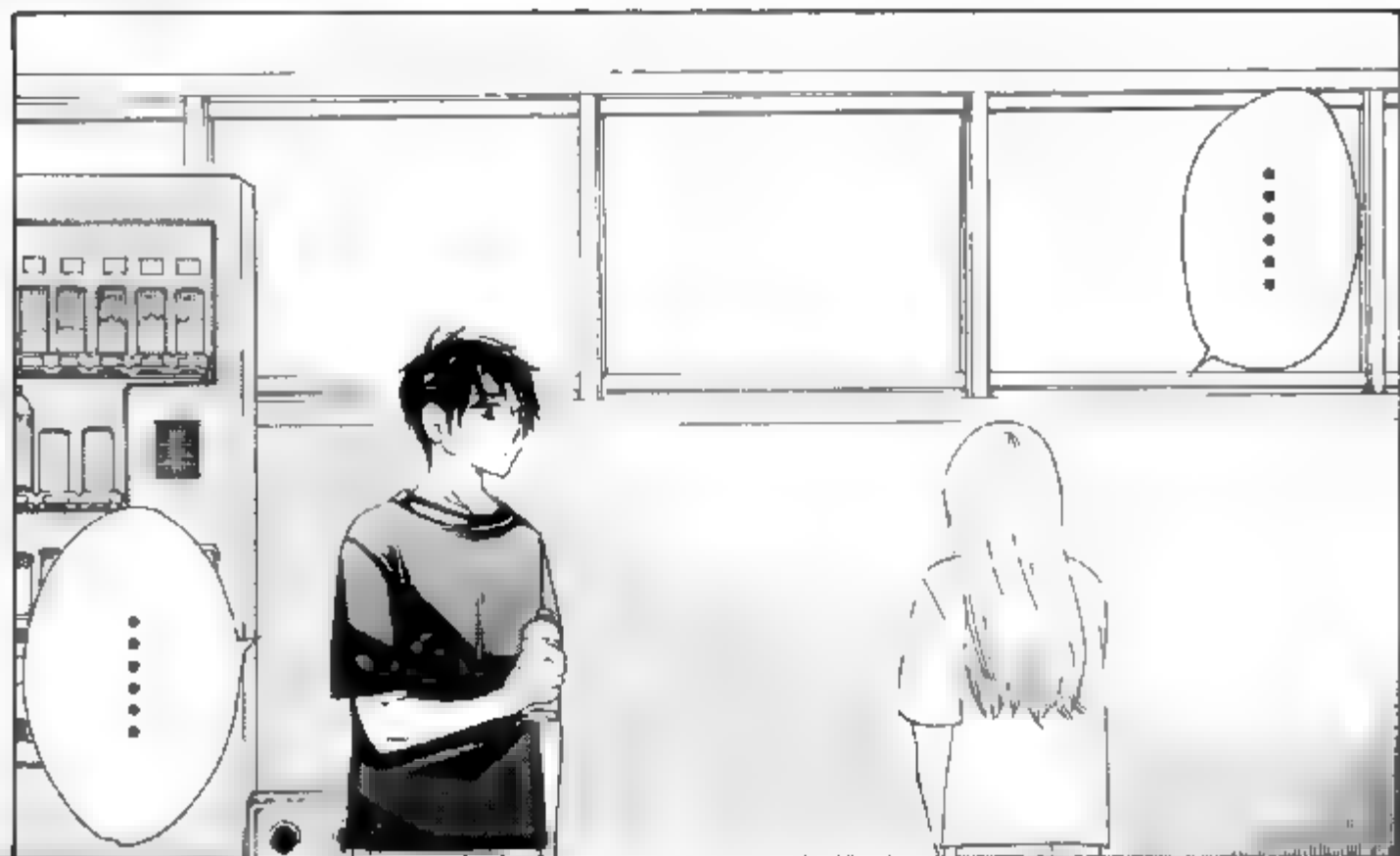
片桐くんは？

俺は

喉かわいて  
目覚めて

エアコン  
つけっぱって  
やっぱよくないな

そう…

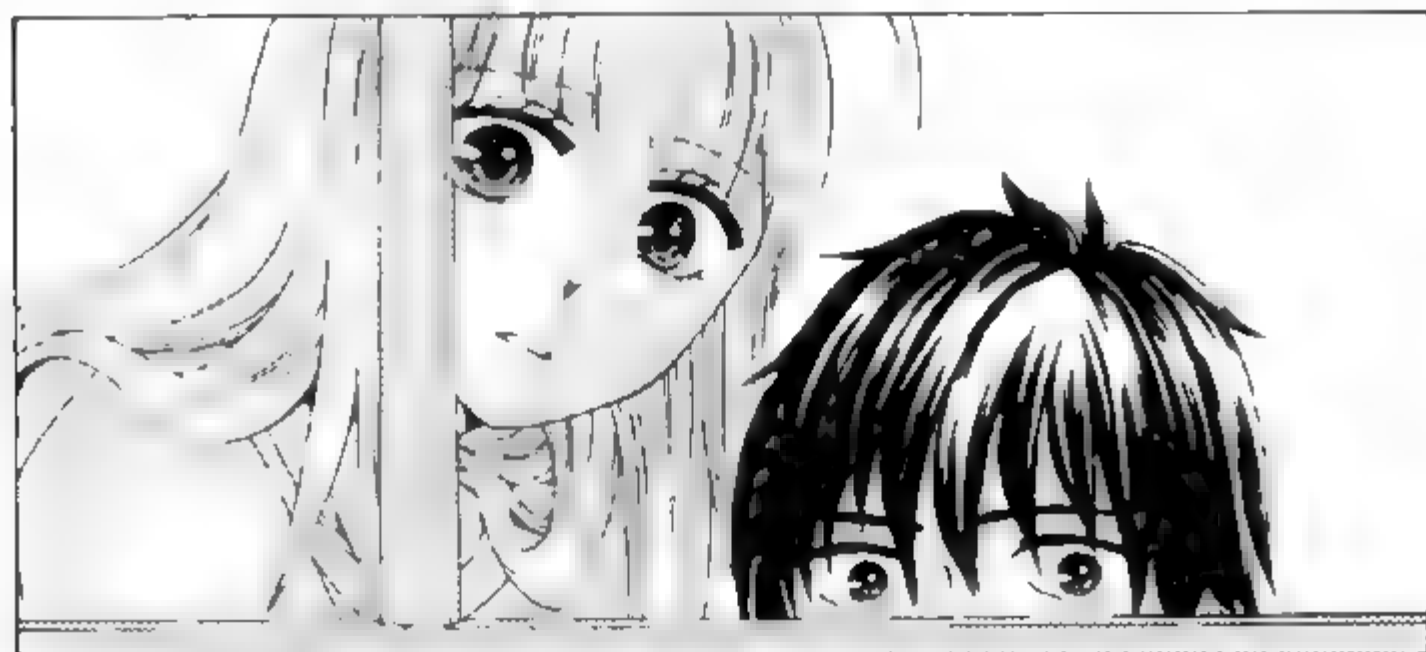


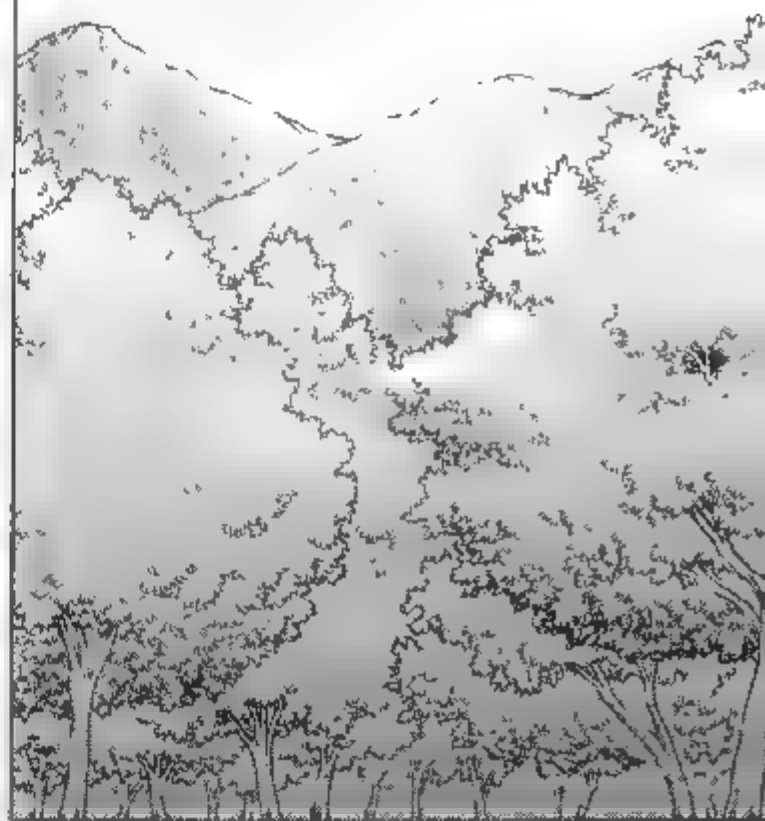
謝りたい

けど

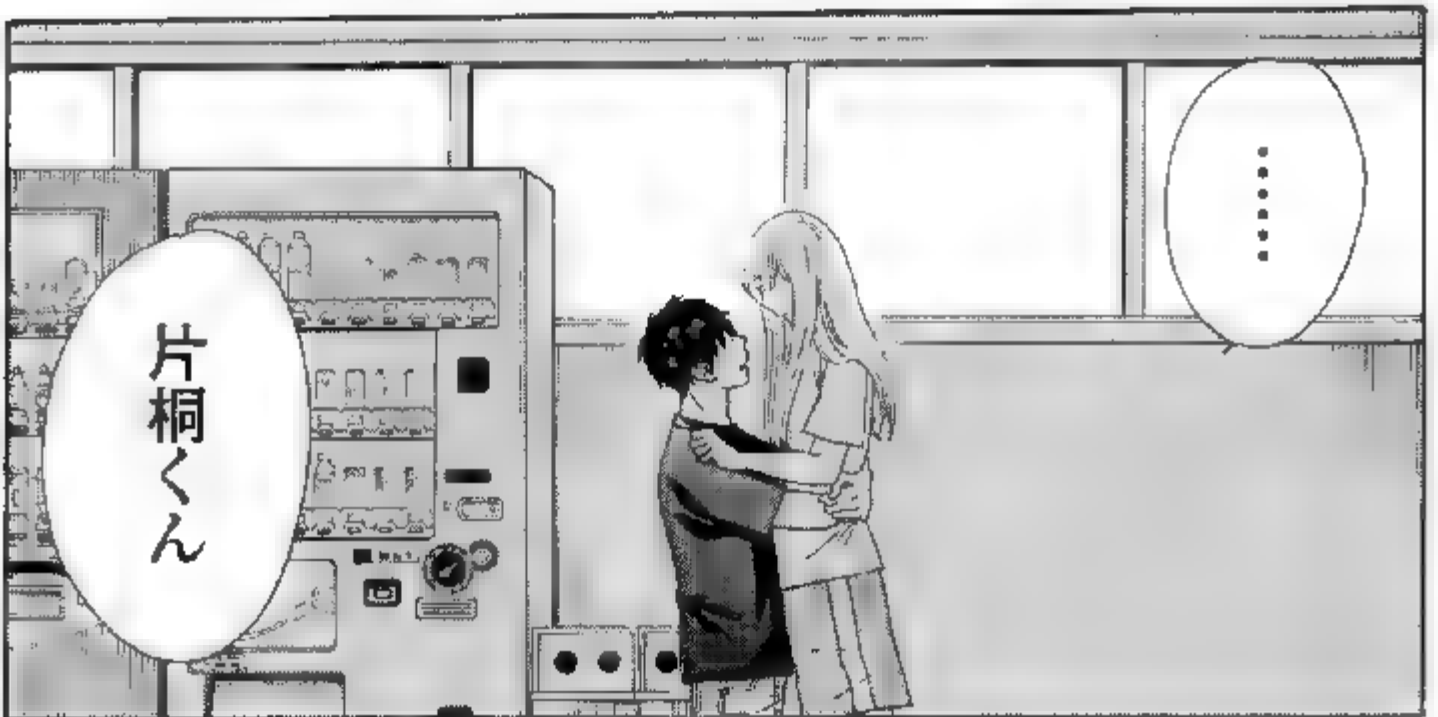














自信が  
ないの

卑屈に  
なって

斉藤さんや

他の人が  
立派に見えて

比べて  
辛くなるの

一人で  
不安になって

でも  
こんな…

こんな  
ケンカは

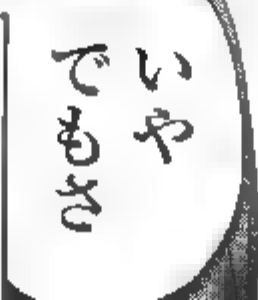
もう  
したくない  
から…

















何でも  
いいよ

ダメでも  
立派でも



どんな  
逢澤でも  
別にいいよ

どう  
なっても



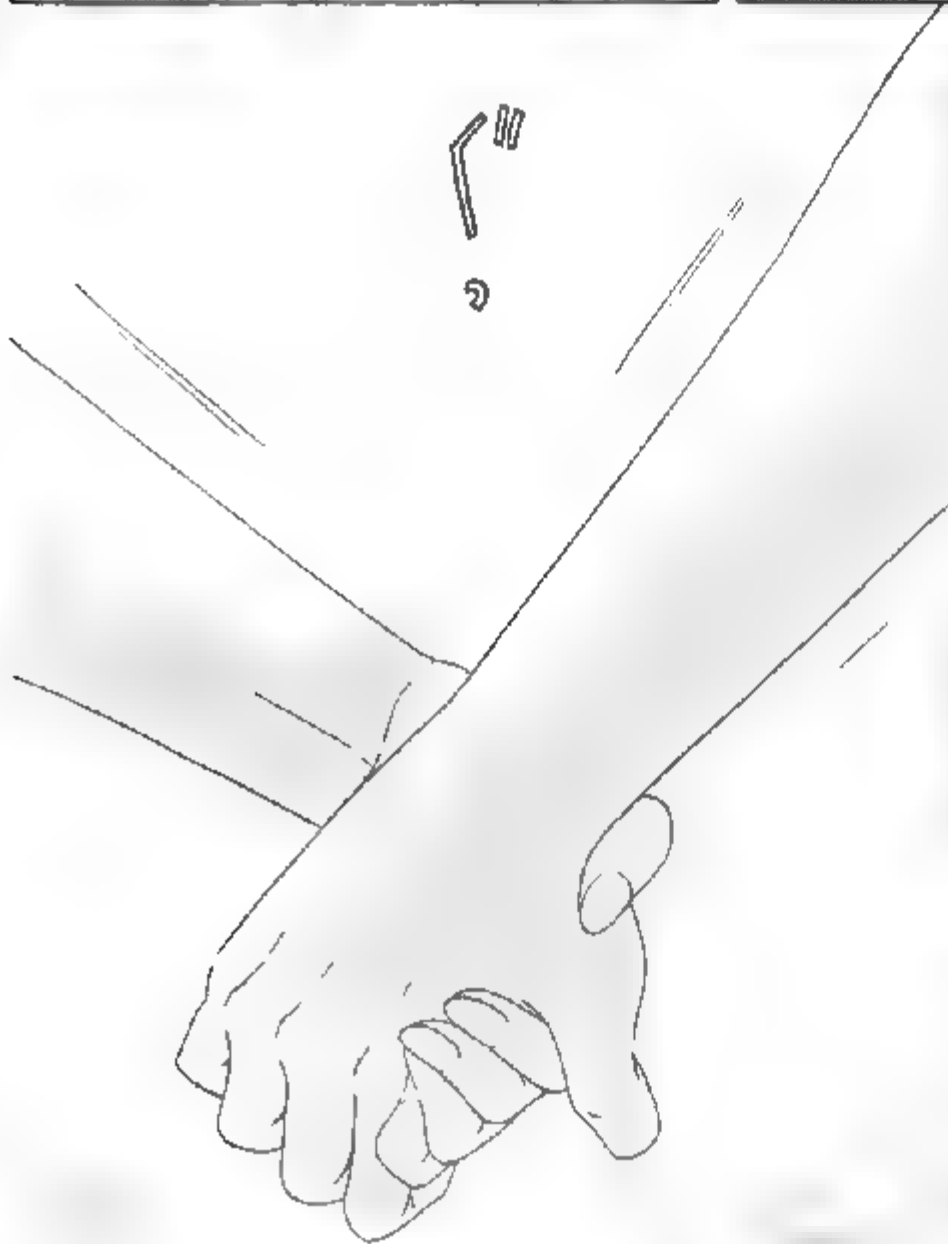
好きだよ

「見捨てないで」

「ダメでも」



「おひよう  
好きでいい」









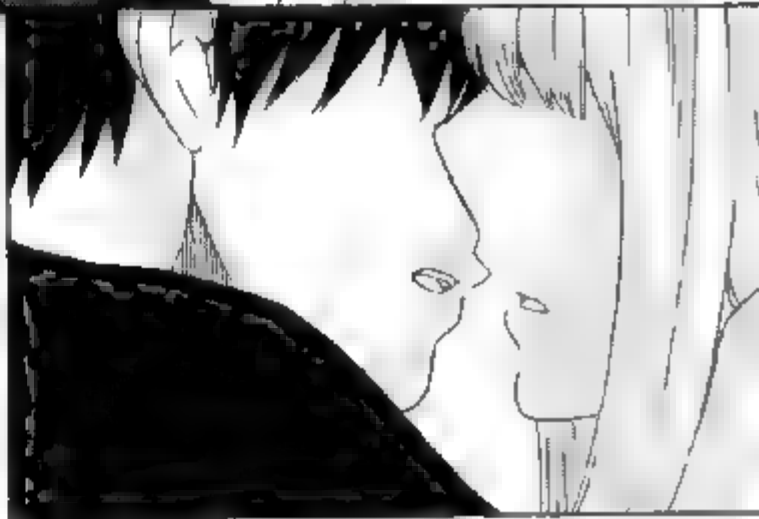


がんばる

私



片桐くんと



ずっと  
一緒に  
いたい  
から



中卒労働者  
から始める  
高校生活

# ブラコンの 作り方8

6巻冒頭の  
場面より

勘弁して  
ほしい…

2度と  
関わるなって  
言っというて  
くんない

まじで

110千

…おしっこ

…

あれえ…

おにーちゃん  
まだ  
起きてたの

おー

もう  
寝るよ

おしっこ





トイレは  
ここだ！

小便して  
さっさと  
寝ろ！！

ぎゃん

ちゅん

ちゅん

おにーちゃん  
おはよう

おはよう

一応  
聞くけど

お前って  
パキスタンに  
用事あんの？

パキスタン！？

あつ  
この前授業に  
でてきたから  
知ってる！！

けど  
用事なんか  
ある訳ないじゃん！！

→  
覚えたこの  
地名が尋に  
出てきただけ



好きだよ

ちなみに私はレクリエーションでやった  
「遠く離れたバケツにわら半紙を丸めて投げ入れる」  
という謎のゲーム中に  
足元に落ちていたわら半紙を  
踏んづけてしまったんですが、

踏んだ瞬間信じられない程わら半紙が床を滑り  
わら半紙もろとも体育館を4~5mは  
片足立ちで滑走しました。  
まるでスケボーに乗ってるかのように。

注目を浴びる中最終的には尻もちをつくという  
20余年経っても忘れられないこのアクシデント。

今は思い出しても微笑ましい程度のアクシデントですが  
当時は恥ずかし死にするかと思いました。

この「生徒会交流会」は次巻に少しだけ続くのですが、  
お話の中で主人公たちが私のようなヘマはしませんよう…  
読者の皆さまにも彼らの無事を  
祈ってもらえたらと思います…笑

次巻も精一杯主人公と仲間たちを描きますので  
お付き合いどうぞよろしくお願いします。

佐々木ミノル

好きだよ

他に  
何もいない

5年前から  
ずっと  
お前だけが  
好きだよ

あ

と

が

き

「中卒労働者から始める高校生活」8巻、  
読んで下さってありがとうございます！

今巻からお話はまた主人公達の学校生活に戻りました。  
真実が通信制高校に通い始めて2回目の夏です。

20余年前、通信制高校に通っていた頃の私も  
2年生～3年生の辺りが特に充実していたように記憶しています。  
生徒会の役員をやっていたのが  
2年生～3年生の時だったので  
それも関係しているのかもしれませんが。

今回お話の中にも出てきました「生徒会交流会」、  
私が通っていた学校でも行われていました。

3校の生徒会役員が主となって集まる形で  
(作中では2校でしたが)、  
とても印象に残るイベントだったと思います。  
他校の生徒さん達との交流には  
普段とは違う面白さがありました。

学校によってなんとなくカラーのようなものは感じるんですが  
(おっとりしたタイプの人が多いな～とか、  
活発な人が多いな～とか、年齢層が若いな～とか)  
それでも「みんな通信制で学んでいる」  
という共通点のおかげで  
あっという間に打ち解けられたように思います。



# 中卒労働者から 始める高校生活 8

佐々木ミノル

日本文芸社

---